

# 令和 6 年度 第 1 回指宿市史編さん委員会 (通算 2 回目)

○指宿市史編さんの目的・事業方針等

○前回からこれまでの経緯 (報告)

## 議題

- (1) 指宿市史編さん基本方針の変更 (案) について
- (2) 通史編及び史料編の構成と掲載内容について
- (3) 編集委員会及び編集専門部会の設置について

令和 6 年 7 月 5 日 (金) 14:00~16:00

## ○指宿市史編さんの目的・事業方針等

指宿市史とは何か（委員・関係者聞き取りから）

---

- 1 指宿市に関する調べもの（問い合わせ）があったときに、一番最初に見るもの。  
市の公式見解であり教科書。情報の核となるもの。
- 2 教育において「郷土愛を育む」ことは大切。市史はそのための教材となる。  
郷土の偉人や史跡を知り「指宿市はすごいところだ」と心を動かされ、わがまちに誇りを持つ。
- 3 現在の視点で指宿の歴史（過去）を見直したとき、新たな発見があり価値が生まれる。  
それは市政や地域づくりにもつながる。
- 4 歴史や特徴を記すことで、指宿市の価値をより高める。
- 5 指宿に関する情報（資料）を未来に残す唯一の手段。



### ① 1市2町いずれの郷土誌（史）も制作から年月が経過

指宿(S60)・山川(H12)・開聞(H6)。情報が更新されていないため、最新の見解とは違う誤った情報も載っている。平成以降の出来事がほとんど掲載されていない。

「開聞岳の高さが違う」「篤姫を詳しく載せてほしい」



### ② 年月が経過するとともに資料・記憶の消失

郷土資料は捨てられがちであり、資料の受け入れ先も明確ではない。戦争等の体験者も年々数が減っている。

「古い資料は捨ててしまった」「分かる人はいない」



### ③ 郷土誌（史）が活用されていない

旧郷土誌が学校教育・社会教育に活かされていない。

「今の市誌を子どもたちが触れることはない」「郷土資料室を使ったことはない」

本市の歴史や社会の変遷を後世へ引き継ぎ、更なる本市の発展に資する

## 目標



01



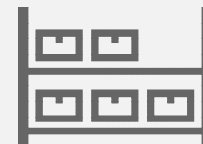
周辺地域の歴史を明らかにし、本市の歴史的文化的な位置を明確にする。

02



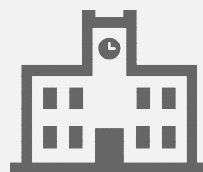
市民協働の事業と位置づける（郷土愛、シビックプライドの醸成）。

03



郷土資料を市民の共有財産として、収集・保存・保管・活用を行う。

04



資料に基づき学術的に記述し、後世に継承する。

05



事業の成果を学校教育・社会教育に活かす。

- 1 学問分野におけるの最新成果を盛り込み、**正史と位置づけられる市史を編さんする。**
- 2 **史資料については、**市内・市外から幅広く収集し、**必要に応じて調査を行う。**
- 3 収集した**史資料は適正な保存・保管を行い、市史編さん業務以外での活用**を行えるようにする。
- 4 **写真や図版を多く使用し、フルカラーで作成することにより、市民に親しまれる市史を編さんする。**
- 5 記述内容は、**公正・中立的なものとし、学術的な観点からの検証**を加える。



# 市史編さん体系図

## I 指宿市史編さん委員会

メンバー  
 ・市長 ・教育長 ・学識経験者 ・地域住民の代表者 ・市の職員 ・その他市長が適当と認める者

主な役割  
 ○市史編さん方針及び刊行計画に関すること（方針・構成・文章・掲載内容・スケジュール）  
 ○その他市史編さんに関し必要な事項

## 市史編さん室

事務全般

濱上和也  
 上村真史  
 上川路隆介  
 中摩浩太郎

## II 編集委員会

メンバー：市史を構成する各分野の編集専門部会のリーダー  
 主な役割：資料収集，調査研究，原稿執筆，専門部間の調整，ページ配分の調整 など

現代（戦後）

### III 編集専門部会

○資料収集・調査研究

○原稿執筆

自然

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

先史

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

古代

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

中世

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

近世

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

近代

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

民俗

リーダー  
 ○○○○

メンバー  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○  
 ○○○○

## 市史編さん 連絡会（職員）

現代編（戦後の記述）を主とし、庁内資料の提供や協力などを行う市役所職員担当で構成する

刊行計画・体裁・発行部数（令和6年2月14日説明）

史料編：A4 300頁×3巻 通史編：A4、600頁×2巻

上製本 500部 すべて4色刷

	業務内容	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)
	編さん計画（発刊年度）			(1) 史料編①	(2) 史料編② (3) 史料編③	(4) 通史編① (5) 通史編②
1	史料編①（●●） 300頁	調査	原稿執筆	校正・印刷製本		
2	史料編②（●●） 300頁	調査	調査	原稿執筆	校正・印刷製本	
3	史料編③（●●） 300頁	調査	調査	原稿執筆	校正・印刷製本	
4	通史編①（先史～近世） 600頁	調査	調査	調査	原稿執筆	校正・印刷製本
5	通史編②（近代～現代） 600頁	調査	調査	調査	原稿執筆	校正・印刷製本

## 第1回指宿市史編さん委員会<sup>240214</sup>



### 1 意見（抜粋）

(1)イメージしにくい時代（先史・古代・中世）をどのように書くか。

(2)周辺地域の歴史資料を参照する。

(3)市民協働の形を議論する。（例えば広報紙連載）

(4)正史として位置付けられない色々な伝説や物語をどのように紹介するか。

(5)どうやったら読んでくれるのか、読ませることができるのか。（発行部数）

(6)資料をデジタル化（PDF）して活用



### 意見への対応

### 事務局指針（委員会での意見をもとにしたもの）

#### (1)イメージしにくい時代（先史・古代・中世）の描き方（市民読者の視点）

- ①現在につなぐために一つひとつの事柄をつないで物語とする。（星から星座）
- ②ネーミング、表現方法を工夫し、読者が自分事として読めるようにする。（トピックスを立てる・問いを立てる）
- ③ページ内に脚注を設けて写真や文章で補足する。（図解・コラム）

#### (2)周辺地域の歴史資料を参照する。

- ①南薩地域の連携・情報収集。（文化連携）

#### (3)市民協働の形を議論する。

- ①広報紙等で周知し、市民から資料を受け入れて編さん。（市民共有の財産を収集）
- ②市民の記憶、言い伝え、言う機会のなかったことの聞き取り。（オーラルヒストリー）
- ③自治会や校区の歴史を、自治会長などと協働で調査する。（アンケート・ワークショップ）

#### (4)正史として位置付けられない色々な伝説や物語をどのように紹介するか。

- ①伝説や物語、生活の様子をコラムで紹介

#### (5)どうすれば読んでくれるか、読ませることができるか。（発行部数）

※多様な取り組みの結果

- ①本体完成後に要約版を作成。いぶすき検定のガイドブックなどとし、継続的に販売する。

#### (6)資料をデジタル化（PDF）して活用

- ①郷土資料等のデータベース作成
- ②ウィキペディアへの活用（ウィキペディアタウン）
- ③QRコードを活用した音声再生〈方言、校歌、風景〉



事務局協議

事務局指針（事務局として大切にしたいこと）

**(7)指宿市の未来，住民のこれからを見据えた内容とする。**

- ①「更なる市の発展に資する」内容とする。教育・産業・生活への貢献
- 教育…学校教育や社会教育での活用。郷土愛（てまえみそ）
- 産業…素材に光をあてる（第2のオリビンを生み出す）  
観光業への活用（観光ガイド）
- 生活…文化・福祉・コミュニティ（住み続ける動機）

**(8)行政資料としての活用。**

- ①集めた資料を整理・編さんして各課に還元する。  
（ケーススタディ・古地図防災）

**(9)市史編さん後の資料活用。**

**(10)市史編さんに関わる新たな事業。**

前回

4 刊行物の体裁・発行部数

各巻 500部



今回

4 刊行物の体裁・発行部数

各巻 700部

ページ数についての変更は

（2）通史編及び史料編の構成と掲載内容について  
において説明

- ・ 前回の市史編さん委員会
  - ・ 「指宿市の発行部数として、500部は消極的である」
  - ・ 「経費の問題がある。早い段階でPDFで公開する。総合的判断」
- ・ 事務局意見  
今後デジタル化は進む（紙→データ）  
予算の範囲での部数を増加

（500部完売をめぐりにPDF公開）  
PDF公開後も、印刷物の購入希望者が数年いる。ある程度在庫を残す。

前回

05

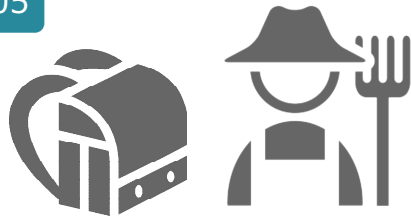


事業の成果を学校教育・  
社会教育に活かす。

**(5) 市史編さん事業での成果を学校教育・社会教育に  
活かし、地域学習にも貢献するものとする。**

今回

05



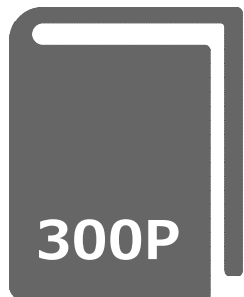
事業の成果を教育・産  
業・生活等に活かす。

**(5) 市史編さん事業での成果を教育・産業・生活など  
あらゆる分野に活かし、その発展に貢献する。**

前回

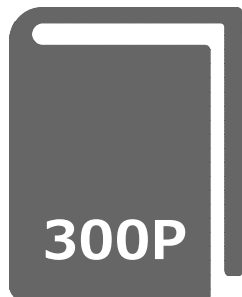
史料編①

R8年度



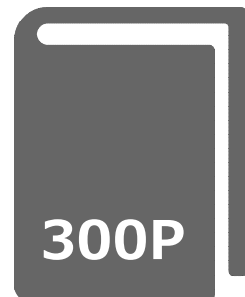
史料編②

R9年度



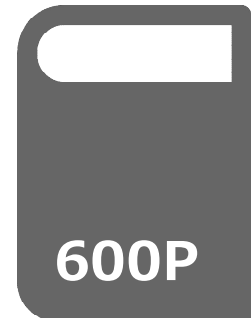
史料編③

R9年度



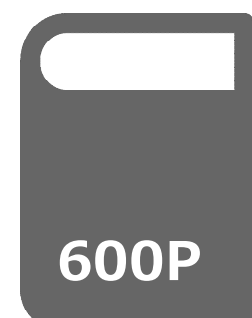
通史編①

R10年度



通史編②

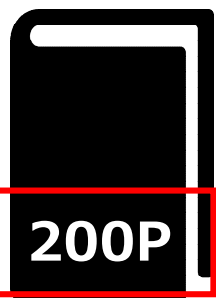
R10年度



今回

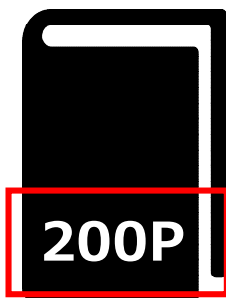
史料編①

R8年度



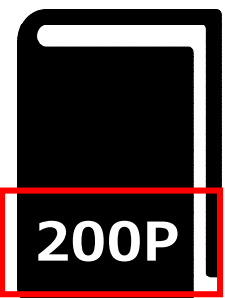
史料編②

R9年度



史料編③

R9年度



通史編①

R10年度



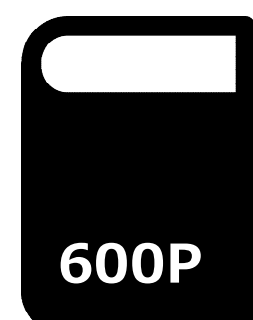
通史編②

R10年度



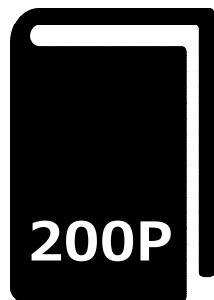
通史編③

R10年度



### 通史編①

R10年度



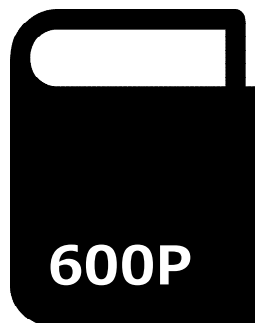
### 〇市の概要，自然

横書き・700部・4色刷

英数字や英語表記が多く想定されるので横書きとする。  
市の概要，自然を切り離し，見やすくする。  
指宿は火山銀座と言われるなど  
自然環境が特徴的なことから  
別立てで紹介する。

### 通史編②

R10年度



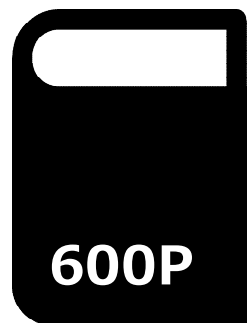
### 〇先史～近代（終戦）

縦書き・700部・4色刷

近代（終戦）までを  
通史編②とする。  
転換点（明治維新・終戦）

### 通史編③

R10年度



### 〇現代・テーマ史

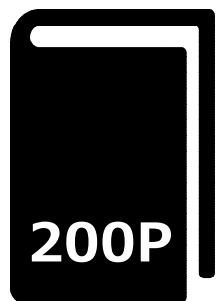
縦書き・700部・4色刷

戦後復興，経済成長下の  
指宿を記載する  
テーマ別の視点で掘りさげる  
行政史・人物史・防災史  
校区・区史 産業史  
文化史 民俗 等

# 史料編①②③

## 史料編①

R8年度



### ○現代（戦後）

縦書き・700部・4色刷

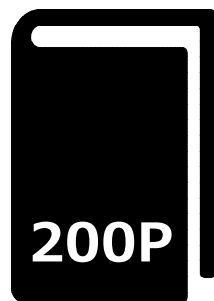
写真と解説

市制20周年にあわせて発刊  
大衆文化や生活，産業の紹介  
懐かしさと温もり，学びがある  
自らの人生と重ねて回想できる  
市史編さんを楽しみにしてもらおう

記録写真・行政資料・学校資料・自治資料・新聞・広報紙・統計資料・観光資料・地図

## 史料編②

R9年度



### ○近世（前田勘助日記）

縦書き・700部・4色刷

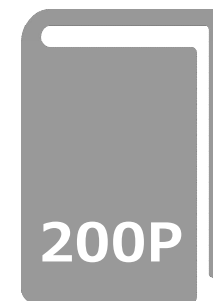
原文写真と口語訳・解説

指宿地頭仮屋に勤務していた役人の日記を通じて，当時の生活の様子を知る。（指宿版：武士の家計簿）

古文書

## 史料編③

R9年度



### ○未定

縦書き・700部・4色刷

候補

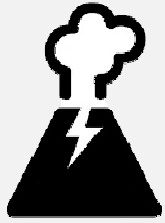
地理・歴史・民俗・風習

方言・神話伝承・文化財

※多くある候補から今後決める

# 議題（3）編集委員会及び編集専門部会の設置について

## 01 自然・通史①



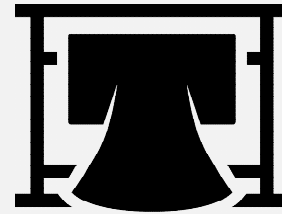
市の概要・自然

## 02 先史・②



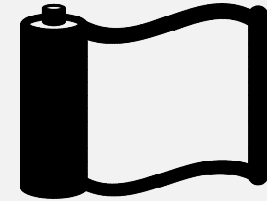
旧石器・縄文  
弥生・古墳

## 03 古代・②



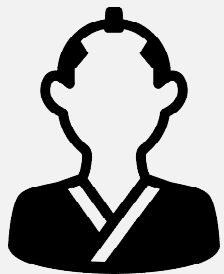
飛鳥・奈良・平安

## 04 中世・②



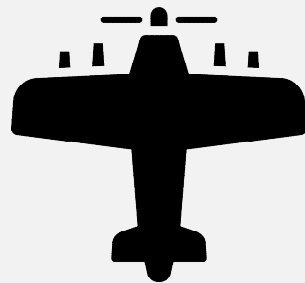
鎌倉・南北朝  
室町・戦国

## 05 近世・②



江戸

## 06 近代・②



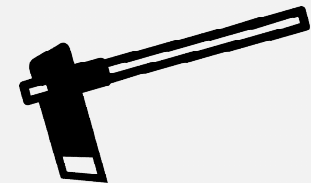
明治～太平洋戦争

## 07 現代・③



太平洋戦争～令和

## 08 民俗・③



文化・民俗

自然部会は、初回及び必要に応じて編集委員会に出席。

- ・ 情報発信（広報紙）
- ・ 現状なかなか集まらない状況

- ・ 市のホームページで広報  
市民や関係者が「市史編さん」を検索すると情報を得ることができる。
- ・ 自治会長アンケート
- ・ 情報を持っている人への聞き取り
- ・ SNSの活用（Instagram…昔の写真を送ってください）
- ・ 提供情報を広報紙に掲載（カラー化）（現在との比較）
- ・ 情報収集にあたり「ことあるごとに」市民に呼びかける
- ・ 作成と宣伝販売はともに重要。宣伝販売部隊を作る。

対策